

# 大学の魅力PRレポート

## 1. 研究室概要

大学名	東京都立大学		研究者	長井 超慧
			職位	准教授
研究領域	設計		窓口担当	産学公連携センター
研究キーワード	形状モデリング、コンピュータグラフィックス、計算幾何学、スキャン形状データ処理			
住所	〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1			
電話	042-677-2729	E-mail	soudanml@jmj.tmu.ac.jp	
FAX	042-677-5640	URL	<a href="http://www.comp.sd.tmu.ac.jp/gdd/">http://www.comp.sd.tmu.ac.jp/gdd/</a>	

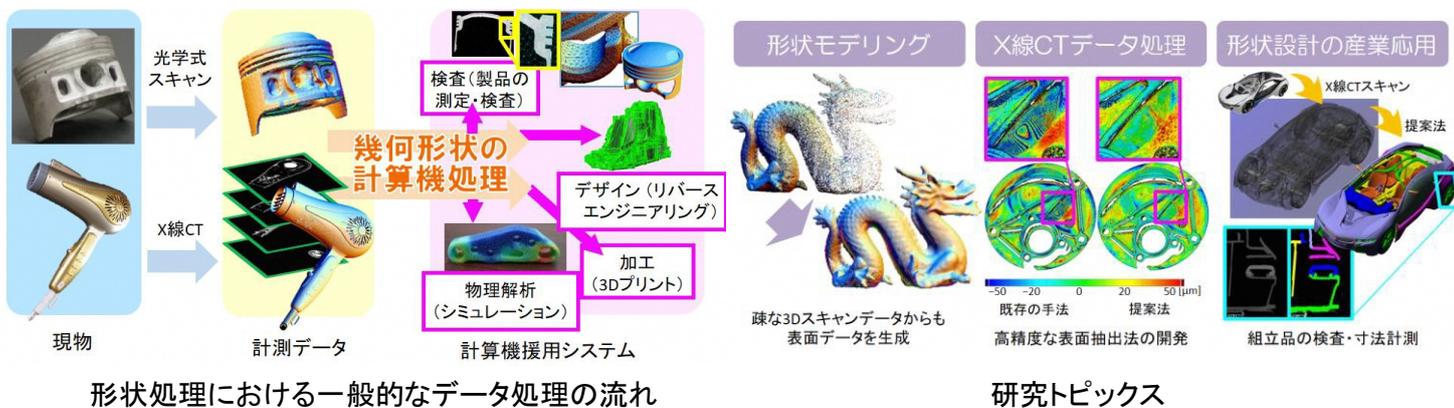
## 2. 技術PR事項

### 『ものづくりに向けた形状処理技術』

デジタルエンジニアリング技術により、現物（実際に存在する物体）の形状スキャンデータ処理の研究・技術開発を通じて、ものづくりに貢献することを目指します。

#### 1. 概要

計算機を用いた製造支援技術であるデジタルエンジニアリングは、加工技術と計算機技術が融合した分野横断的なものづくりを実現すると期待される技術の一つです。当研究室では特に3次元形状スキャンデータの処理技術を開発することで、ソフトウェア技術で高精度かつ頑健な形状処理・可視化を叶えることを目標とします。



#### 2. 希望する連携内容(共同研究、試作品作りなど)と相談に対応できる技術分野

- ◆ 製品の3次元スキャンデータ処理(X線CTスキャン・光学式スキャンによる検査、形状解析等)に関する連携・技術相談をお待ちしています。
- ◆ 過去の連携例: 複合材のX線CTによる検査技術開発、アセンブリ品のセグメンテーション(部品切り分け)技術開発、アセンブリ品の狭小な隙間解析技術開発、X線CTデータのアーチファクト軽減技術開発

#### 3. 特記事項

- [招待講演] 長井超慧、3次元スキャンを有効活用するためのデータ処理解説、測定計測 2019 特別セミナー 複雑形状の計測と評価 —21世紀のものづくりを支える多数点群による形状計測—、東京ビッグサイト、2019年9月。
- 業績詳細(researchmap): <https://researchmap.jp/yukie/>